



こんな事案を聞いた。街中で、

廃棄物の収集運搬を行

っている会社のドライ

バーがパッ

カー車に溜まった汚

水を排水溝に流して

いた。住民の通報を

受け、警察官が張り

込んでいた。現場を

押さえ、何をしてい

るのかと質問。彼の

答えは…。

パッカー車の汚水
タンクに汚水が溜ま
ると、ごみを投入す
るときに汚水が跳ね
上がる。道行くサラ
リーマンはあまりに
気にせずパッカー車
ていたという。警察
に不法投棄ではない
かと疑われたが、彼
はそんなつもりはな
く、路上に流せば良
くないが、排水溝で
あれば問題ないと思
う」と口調を強める。
裁判になり、その状
態が「管理者の手を
離れている」「自然に
還元した状態」と認
定されれば不法投棄
となり、刑事罰は免
れない。万

悪気はなくても 不法投棄？

のすぐそばを歩いて
いくが、作業中だと
誤って汚水がかかる
かもしれない。それ
では気の毒なので汚
水がある程度溜まっ
たら道路の排水溝に
汚水を流すことにし
ていた。
一見のんきな話の
ようだが、廃棄物処
理法に詳しい弁護士
によると、「起訴さ
れてもおかしくない
ケース。もし起訴さ
れたらまず有罪にな
りえないと笑う人
も、一抹の不安を感
じた人も、今一度社
員教育の中身を見直
してはどうだろう。

(文)